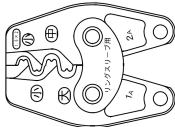


## 取扱説明書

**14AT-IS**

[充電油圧式多機能工具 REC-Li14M、REC-Li14MS、REC-Li14MS1、REC-14M1 アタッチメント]

## ■ 形 状



## 仕様

圧着範囲 リングスリーブ 小・中・大  
・ J I S C 2 8 0 6 銅線用裸圧着スリーブ  
終端重ね合わせ用スリーブ (E)

### ■ 標準圧着回数

満充電における標準着回数は、およそ次のとおりです。

※この数値は、充電の条件により変わることがありますので、参考値としてください。

スリーブの呼び	標準圧着回数		
	REC-Li14M (BP-14LN装着)	REC-Li14MS (BP-14MS1装着)	REC-14M1
小	(少) 850回	(少) 565回	(少) 100回
	850回	565回	100回
中	700回	465回	85回
大	700回	465回	85回

## ■ダイスと電線の組み合わせ

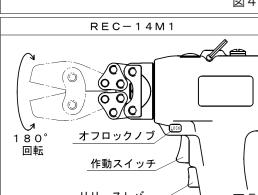
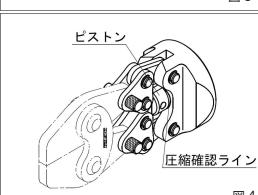
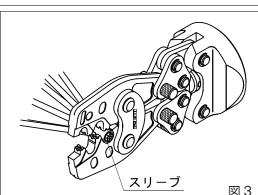
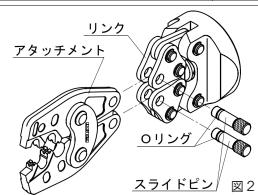
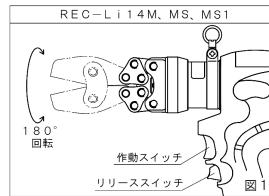
スリーブ の呼び	工具 ダイス部 の呼び	電線組み合わせ					最大 使用 電流 A	
		同一の場合			異なる場合			
		φ 1.6mm または 2.0mm <sup>2</sup>	φ 2.0mm または 3.5mm <sup>2</sup>	φ 2.6mm または 5.5mm <sup>2</sup>				
小	(小) 1.6×2	2 本	_____	_____	φ 1.6mm 1 本と 0.75mm <sup>2</sup> 1 本 φ 1.6mm 2 本と 0.75mm <sup>2</sup> 1 本		20	
	小	3~4 本	2 本	_____	φ 2.0mm 1 本と φ 1.6mm 1~2 本			
中	中	5~6 本	3~4 本	2 本	φ 2.0mm 1 本と φ 1.6mm 3~5 本 φ 2.0mm 2 本と φ 1.6mm 1~3 本 φ 2.0mm 3 本と φ 1.6mm 1 本 φ 2.6mm 1 本と φ 1.6mm 1~3 本 φ 2.6mm 1 本と φ 2.0mm 1~2 本 φ 2.6mm 2 本と φ 1.6mm 1 本 φ 2.6mm 1 本と φ 2.0mm 1 本と φ 1.6mm 1~2 本		30	
大	大	7 本	5 本	3 本	φ 2.0mm 1 本と φ 1.6mm 6 本 φ 2.0mm 2 本と φ 1.6mm 4 本 φ 2.0mm 3 本と φ 1.6mm 2 本 φ 2.0mm 4 本と φ 1.6mm 1 本 φ 2.6mm 1 本と φ 2.0mm 3 本 φ 2.6mm 2 本と φ 1.6mm 2 本 φ 2.6mm 2 本と φ 2.0mm 1 本 φ 2.6mm 1 本と φ 2.0mm 2 本と φ 1.6mm 1 本		30	

注) スリーブE(小)で1.6×2本を圧着する場合は、圧着工具の(小)印歯形で圧着してください。

## ■使用方法

### アタッチメント(ダイス)取付け方法

- 工具の作動スイッチを操作し(0.5秒程度)ピストンをアタッチメント(ダイス)が装着し易い位置まで移動させてください。(図1)
- アタッチメントをリンク間に入れ、穴位置を合わせスライドピンを根元まで確実に差し込んでください。なお、スライドピンは回しながら差し込みますと軽く装着できます。(図2)
- 注意:スライドピンに装着されていますOリングが破損している場合は、新しいものと交換してください。Oリングが破損したまま作業しますと、作業中にスライドピンが脱落する恐れがあります。
- リリーススイッチを押し、ピストンを下降終点(歯形部全開)まで戻します。



## 圧着作業

- 作業に適した方向にダイスを回してください。  
ダイスは180°回転します。(図1)  
なお、ダイスの回転はリリーススイッチを押しながら行いますと、より軽く回転できます。
- スリーブのスカート部を除いた筒部の中心と、雄ダイスの中心が合うように保持しながら、作動スイッチを操作(押す)し軽く固定(仮押え)してください。(図3)
- 電線をスリーブのスカート側より心綫が1mm程度出るか突き当たるまで挿入してください。
- 更に作動スイッチを操作してください。  
ダイス間が密着して、「カチン」と報知音を発し圧力規制装置が作動します。  
またピストンのロッド部に表示された圧着確認ラインが見えています。(図4) 圧着は正常におこなわれこれで完了です。
- リリーススイッチを押してください。押している間ピストンは下がり続け、動きが止まつたら下降終点です。

### 【REC-14M1をご使用の場合】

圧着作業時以外はオフロックノブのLOCK側を押し、作動スイッチをロックしてください。(図5)

## ■注意事項

- 必ず圧着する電線、スリーブ、ダイスの組み合わせは誤りのないようにしてください。  
接続性能上悪影響を生じます。  
また破損等の原因にもなりますので十分注意してください。
- カラ押し操作はしないでください。
- スライドピンは、確実に差し込んだ状態で使用してください。差し込みが不十分ですと、工具破損の原因となります。
- ヘッド部を人に向けるような使用方法は絶対にしないでください。

## ■保守・点検

- 日常の保守・点検を怠りますと、工具の故障の原因になりますので注意してください。
- 工具の円滑な作動および錆の発生を防ぐため、できるだけ湿気をさせて保管し、摺動する部分には時々機械油を注油してください。
- 日常の保守・点検が十分であれば、故障の生じる事はありませんが、万一生じた場合はもよりの代理店または弊社営業所へお問い合わせください。

## ■別売品のご案内

充電油圧式多機能工具 REC-Li 14M, REC-Li 14MS, REC-Li 14MS1, REC-14M1 アタッチメント

● 14AT-214 銅線用裸圧着端子、銅線用裸圧着スリーブ (B), (P) 用

マクセルレイズミ株式会社

119685021-06A5